

## ニコニコしながら見ている

二月二十六日 水曜日 ニコニコしながら見ている

起きたら四時過ぎ。

目がパッチとあき、

「もう、ひと寝入り」

という具合には行かない。

そこで古文の予習を三十分程する。

また、寒いので、床に入り、  
しばらく、天井を見て時間を過ごす。

急に、起きあがり、再び、英文解釈をやりだす。

時間割りを合わせると、もう六時四十分。

急いで、下へ行き、めしを食う。

少し雪が降っていた。

睡眠は六時間ちょっと。

少し、眠く感じるが、常日頃の「寝過ぎ」で穴埋め。

今日も、三条京阪バス停で、あの子を見る。

彼女も、一瞬、  
僕が見とれているのを感じ取ったのか、  
僕の方を見た。